



吉川小だより 冬休み号

京都府亀岡市立吉川小学校 令和6年12月24日発行
〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210
E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



吉川小HPもご覧ください！

2025！よい年に！

石川県の地震で始まった2024年、どうなることかと全国に不安が走りました。また、8月には南海トラフ地震につながる大きな地震が宮崎県沖で発生し夏休みの旅行が次々とキャンセルされました。長すぎる猛暑とともに、ずいぶん前のことのように思います。それでも今年の漢字「金」が表すようにパリオリンピック・パラリンピックでの日本の選手の大活躍や京都国際高校の甲子園初優勝など明るい話題もありました。いったい皆様にとって今年はどんな年だったでしょう。ぜひ、子どもと一緒にご家族で一年を振り返り、心に残ったことなどを話し合ってみてください。

さて、吉川っ子は、今年も日々の学習に加え、特に2つのことをバージョンアップし大切にしてきました。

それは、**人権学習と本物体験**です。

人権学習では、例年人権月間の1ヶ月間行っていた「スマイル見つけ」を年間通じて取り組むことにしました。友達のよさやがんばりを見つめ、お互いをいろいろな場面から知ろうとする取組です。つまり、相手を理解することが互いを大切にするにつなげるからです。知らないことやわからないことへの恐怖は、偏見を生みます。時には差別やいじめを助長させます。自分を守るために、知らない・わからないことに対する不安を除去しようとするプログラムが人間に組み込まれています。相手をきちんと知るためにはどうしたらよいか、見方や方法を学びます。見つけたことを一つ一つカードに書き残します。この継続が人や物事を正しく見ようとする習慣になり、正しく捉える力となると考えています。



もう一つは、本物体験です。吉川っ子本物体験シリーズとして今年もたくさんの本物に出会えるようプログラムしています。

中でも、今月は、学校に**オーケストラ**を呼ぶことができました。体育館に響き渡るものすごい迫力、それぞれの楽器の美しい音色。心と体全体で味わいながらプロの演奏に浸りました。また校歌をオーケストラの演出で歌う素晴らしい経験をしました。地域の方も多数参加いただき楽しんでくださいました。ありがとうございました。



また、先週、5・6年生は、**陶芸**に挑戦しました。粘土の柔らかさや冷たさを感じながら、心を落ち着かせ一つの作品を仕上げます。緊張感の漂うすごくいい時間でした。どんなふうに焼き上がるのか、できあがりを楽しみます。



吉川っ子にたくさんの本物に出会わせたい。どんなことから新しい感性が、興味・関心が生まれるかわかりません。地域の皆様にお世話になっている田植え・稲刈り体験、黒豆栽培、ふすま屋さんやコスモス園の見学も同じです。引き続き五感をしっかりと働かせ、吉川っ子の感じる力をもっともっと育みたいと思っています。

校長 藤田 哲也